

# あつま

## 議会だより

12月定例会号

No. 142

平成23年1月発行



(浜厚真：新年の大漁祈願)

目次	掲載ページ
○平成21年度各会計の決算を認定	2～3
○委員会活動レポート	
・ 総務文教：犯罪被害者支援条例、厚真町の選挙広報、町有地の自治会への貸付管理の状況、上厚真市街地整備、臨海施設ゾーンの整備、北海道からの権限移譲	4
・ 産業建設：厚真地区統合簡易水道事業計画、新規振興作物導入試験事業、農業者戸別所得補償制度	5
○一般質問	
・ エゾシカ対策、厚真川河川改修、在宅介護……………渡部孝樹	6
・ 役場庁舎の改築、指定管理者制度、水資源の涵養……………井上次男	7
・ 中国人観光客などによる活性化……………木本清登	8
・ TPP協定参加の影響、コガネムシ対策……………米田俊之	9
・ 学力向上、滞納への対応……………木村幸一	10
・ 議員からの働きかけに対する対応、農業に対する基本方針、エゾシカ対策、姉妹都市交流事業、町並み景観に対する考え方……………下司義之	11
○議決案件（賛否状況）	12～13
○臨時議会報告・あしがき	14

# 平成21年度決算を認定

平成22年第3回定例会で、決算審査特別委員会（今村昭一委員長）に付託された平成21年度各会計の歳入・歳出決算について11月9、11、12日の3日間、委員会を開催し審査した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。委員会での多数の質疑のうち、主なものをお知らせします。

## 公用車の管理

（総務人事G）

**Q** 公用車の保有台数と車検整備の発注方法は。

**課長** 特殊車を含め37台で町内整備工場5社の見積合せで決定。

## ハザードマップ

（総務人事G）

**Q** ハザードマップの配布の効果と今後の活用は。

**課長** 指定施設が活用出来ない場所もあるなど改めてわかった事もあり、効果はあった。

今後浸水地域だけでなく町民の安全に取組む。

## ふるさと納税

（税務G）

**Q** ふるさと納税の実績

及び特典は。

**参事** 町外4件9万2千円で、礼状、用途のお知らせを送っている。

## 滞納徴収

（税務G）

**Q** 滞納額の徴収見込みは。

**主査** 固定資産税については財産差押などを行っている。

**Q** 町税、使用料、国保料徴収事務での情報交換はしているか。

**会計管理者** 徴収強化月間を設け徴収強化を図る予定である。

## 地域情報化

（企画調整G）

**Q** 町長の新年の挨拶、

町のニュースの動画配信の利用は。

**課長** 新年の挨拶配信は行っている。魅力ある内容にするには映像が必要なので、防災カメラ設置後の映像配信を考えている。

## 交通環境

（企画調整G）

**Q** 生活交通路線は今後も4路線か。

**課長** 生活路線の補助と循環バスの運行で戸口から戸口までの実施を最終目標にする。

**Q** 町外からの交通アクセスは。

**課長** 町外への既存交通と時間帯を合わせる予定である。

## 旧油田への対応

（事業推進G）

**Q** 油田抗対策の調査の頻度又対応は、又利用は。

**参事** 年4回産廃処理業者に油を持込んでいます。成分分析の結果をみて利用を考えたい。

## フォーラム・ビレッジ

（事業推進G）

**Q** フォーラム・ビレッジのPR予算について

**参事** 販売促進費用は多めに計上したい。道外でも効果がでる広告を検討している。

## デイサービス

（福祉G）

**Q** 経済的理由で、本郷デイサービスセンターの

利用を控えているなどの相談は。

**課長** 本人が行きたくないという場合や、経済面での不安で認定を受けない人もいる。減免制度を調査したい。

## 学童保育

（子育て支援G）

**Q** 学童保育の時間延長は。

**主幹** 声が出たら理事者と協議したい。

**Q** 上厚真の学童保育の施設は充分か。

**課長** 厚南会館で良いとアンケート結果があり、我慢してもらっている。

## 保育所

（子育て支援G）

**Q** 宮の森の照明をLEDにしたが、今後他の保育所は。

**総務課長** 宮の森は試験的で価格が下がれば検討する。

**Q** 保育士の研修成果は。町民福祉課長 今後保育園運営の中で反映される

と期待している。

### ゴミ袋

(町民生活G)

**Q** 生ゴミ袋は小さい袋に改良できないか。

**参事** 版の製作費が高額になるので現状のままで使用したい。

### 農地あっせん

(農業委員会)

**Q** 21年度の農地のあっせん件数や面積は。

**局長** あっせん17件、田18・7ha、畑15・6haである。

### 種粉消毒施設

(農業水産G)

**Q** 種粉消毒施設の成果は。

**主幹** 排水に農薬が含まれなくなつた。実績は情報収集して分析する。

### エゾシカ対策

(農業水産G)

**Q** エゾシカ被害防止対策の成果と今後は。

**課長** 防護柵を190km

ほど設置した。残りは40kmほどである。

### こぶしの湯

(商工観光林業G)

**Q** 「こぶしの湯」を指定管理にしたメリットは。

**参事** 前年比10%以上の集客増でスタンプ会の努力がみられる。

### グリーン・ツーリズム

(商工観光林業G)

**Q** グリーン・ツーリズムの成果と今後の考え方は。

**参事** 5年計画で今年度は特産品部会と直販部会が活動している。

**Q** グリーン・ツーリズムの試食会に参加したが本来家庭の味を発掘するべきではないか。

**町長** 家庭の味のみで商品化するの難しいが、ファームイン等の環境と合わせれば可能。

**Q** パークゴルフ場整備

(土木G)

### 公園管理

(土木G)

の維持管理、業務管理は。

**課長** 苦情は有る。事前に把握し連携を密にする。

### 道路管理

(土木G)

**Q** ガードレールの当て逃げはどう対応しているか。

**課長** 軽微なものは、原因究明より交通安全面を優先して対応している。

**Q** 道路への不法投棄の対応は。

**課長** 道路管理者で対応しているが、不法投棄の対策に苦慮している。

### 厚南会館施設

(上厚真支所)

**Q** 大集会室の音響、照明設備は、改善を要しないか。

**支所長** 照明について改善を現在検討中で、音響については今後検討する。

### 厚真高校

(学校教育G)

**Q** 厚真高校生の下宿人数、通学状況は。

**課長** 下宿1名、町外からの通学60名、うち安平15名、苫小牧43名、他2名である。

### 英語教育

(学校教育G・社会教育G)

**Q** 小学生の英語力はどの程度必要だと考えるか。

**教育長** 23年度から小学5、6年生の英語が必須となる。中学につながる英語力にしたい。

**Q** 厚真の中学校の英語教育レベルは。

**教育長** ヒアリング、コミュニケーション能力は他の学校より高いと思う。

### 発掘調査

(社会教育G)

**Q** 3つの遺跡の発掘調査でどのようなことがわかったか。

**学芸員** 縄文時代の住居跡集落跡を発見した。富里ではチャシ跡の源流を示す遺跡の調査が来た。

桜丘は500年前の山城であることがわかった。

**Q** 主にどんな注目を浴びたか。

**学芸員** アイヌ文化は文字記録がなく、出土品は先住性を示す資料として注目された。

### 学校給食

(給食センター)

**Q** 毎日の食材の受け入れ方法は。

**栄養士** 早出の職員が一緒に立ち会い対応している。

**Q** 給食費の滞納はどのようにして減らしたか。

**課長** 滞納が発生した時点で、すぐこまめに対応した。

# 動レホート

## 概要

### 総務文教常任委員会

委員会は去る10月26日、事務調査現地調査を行い、その結果を第4回定例会に報告した。事務調査6件を掲載

#### 犯罪被害者支援条例

(総務人事G)

**Q** 一次保護とか施設への入所による保護というのがあがるが、具体的にはどのような方法か。

**課長** 医療や介護という面になると、当然本町でも町が所有している施設あるいは町内にある施設と連携してさらに保護させていただく。

#### 厚真町の選挙公報

(総務人事G)

**Q** 公報の配布方法、及び予算はどのようなになるか。

**課長** 他の町を例にとると厚真町でいうシルバー人材センターにお願いをしている町と、新聞販売所をお願いするという方法をとっているが、それによつての配布もれは起きていないと聞いている。費用については、概ね1世帯80円から100円ぐらいとみて、16万から

20万前後くらいである。

#### 町有地の自治会への貸付管理の状況

(総務人事G)

**Q** 富里と軽舞神社を無償譲渡で自治会へ戻すと、税金などは発生しないか。

**課長** 非課税団体ではないので、課税される。ただ現況が山林なので、税金は少額にしかならないと思う。

これは地元自治会も理解の上で、譲渡してほしいという話である。

#### 上厚真市街地整備

(事業推進G)

**Q** 若い人に住んでもらうということを考えているか。

**参事** 昨年、上厚真定住促進住宅を4戸新築し、募集をしたところすぐ埋まった。非常に投資効果があったと考えている。苦小牧に近い通勤圏内であつて家賃が安くて環

境がよくて、住みやすい場所を提供したいという考えである。

**Q** 沼ノ端地区より格安の土地を提供するというのも含めて、宣伝していかないと上厚真地区は発展しないと思うが。

**参事** 商店街の町並み整備だけでは活性化には基本的にならない。

やはり移住定住、それから人口が増えないことには上厚真の商店街は活性化しないという考えで計画を構想した。

#### 臨海施設ゾーンの整備

(事業推進G)

**Q** キャンプの森のオートキャンプ場の構想で、どの辺の人を対象にしているか。

**参事** ここを訪れるサッカー、バギー、サーファーの関係者を中心に考えている。

キャンプ場は水、電気関係についても必要になるので、必要な段階で整

備していく。

**Q** サンドビーチの管理棟、トイレ、シャワー施設は、砂や夜間を含めて管理対策を想定して考えたか。

**参事** 管理棟の中には、トイレ、簡易的な案内所を造つて、外付けでシャワー、水周り関係をつけようと考えている。

海に近いので、高床式にして砂がたまらないようになどと考えてはいる。

#### 北海道からの権限移譲内容

(企画調整G)

**Q** 22年度重点推進権限で、特定非営利活動促進法、特定非営利法人とあるが、これはNPOの認可か。

**課長** 町でも、NPOの設立認可、その他の業務一式の権限でまちづくりと密接に関係するということで、権限移譲に向けて、今取り組んでいるところである。

# 委員会活

## 産業建設常任委員会

質

疑

委員会は去る10月27日、事務調査現地調査を行い、その結果を第4回定例会に報告した。現地調査2件、事務調査5件より抜粋。

### 厚真地区統合簡易水道事業計画

(上下水道G)

**Q** 厚幌ダムが遅れるとこの計画も遅れるか。

**主幹** そのとおりである。

**Q** 41億円かかるが、その財源手当ては。

**主幹** 厚労省の3分の1補助事業になっている。

残りは起債と一般会計からの繰り入れとなる。

**Q** 最終的に浄水場が富里に移った場合、今の新町、上厚真の浄水場はどんな役割になるか。

**主幹** 新町は、貯水してポンプで圧送する機能と配水地を活用するポンプ場の役割になる。

上厚真は地下水があるので、処理施設はそのままかす考えである。

### 新規振興作物導入試験事業

(農業水産G)

**Q** 対象10品種をとりあえず出始めに決めて、これから変えていくということだが、10品種というのは誰がどのように選定したか。

**主幹** 10品種については、農業者から話を聞いて、こういう作物を栽培していると教えていただき、見に行つて、その作物については町内でほとんど定着していないというこ

とで対象とさせていた。

**Q** 販売ルートを検討しているか。

**主幹** 販売についてはあくまでも農業者個人の努力で販路を拡大してほしいと考えている。共同で一括して販売する場所を提供してほしいという声があればその時に検討したい。

とで対象とさせていた。

とで対象とさせていた。

### 農業者戸別所得補償制度

(農業水産G)

も言えない。

**Q** 厚真町を一つの農家としたら、今年と来年でどのくらい所得が変わってくるか。

**主幹** 昨年の畑作物と今年の畑作物の実績はそんなに変わっていない。それで試算すると、新しい制度で行くと約4億くらいになるのではないかと

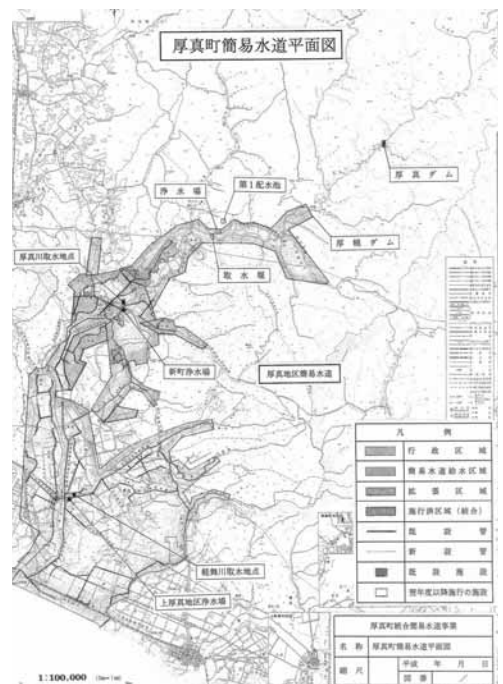
いうことである。麦、大豆の面積も相当数あるの

で、そのぶんこれまでの対策よりはやや多い交付金になるのではないかと試算としてはまだ何と

**Q** 和牛の所得補償の見直しはどうか。

**課長** 畜産に関する所得補償も現政権の大きな取り組みとして載っているが、23年度の予算ではまだ確定されていない。

**Q** 緑肥作物については、**主幹** 緑肥輪作加算というものが設けられて、厚真町は、1万円という見込みと考えている。



# 問う！！

## エゾシカ対策・厚真川河川改修・在宅介護



渡部孝樹議員

**Q** エゾシカ金網フェンスの今後の取り組みは。

**A** 残された地区が国に採択されるよう努力する。

### エゾシカ対策

**問** エゾシカ金網フェンス対策の進捗状況は。

**町長** 総計画25.5kmに対して19.2・09km、本年度は設置延長が66・3km、総事業費8、520万円である。

**問** 本年はかなり広域的取り組みがなされたが、今後更に全町的に包囲しないと、効果を最大限生かされない。23年度に向かって未設置集落の取り組みは。

**町長** 残された地区と協議している。現在、朝日本郷、厚和、鯉沼、軽舞、鹿沼地区から希望があり、国に採択して貰えるよう努力する。

**問** 行政間の広域連携は考えているか。

**町長** 現段階では調整する現状ではない。

**問** 苫東区域で個体調整できないか。

**町長** 道の新たな捕獲方法の調査結果を見て、有効であれば安平町と共同して要望することはできる。

**問** フェンス内に進入した鹿の処理方法は。

**町長** 新しい問題なので、猟友会の皆さんと話し合っただけ、方針を決めるのが今後の課題である。

**問** 今後のエゾシカ対策の町内の広域連携は。

**町長** 全町の協議会、農地・水などの協議会と、今後の金網フェンス維持に対して協議する。

### 厚真川河川改修

**問** 厚真川河川の改修状況は。

**町長** 計画延長30・1km、6割の暫定断面で富里地区まで進捗、事業費ペーすで約70%残り7kmである。

**問** 改修敷地の環境対策

は。今の状態は雑草が茂るなど、自然と共生する為の持続的な農村環境とは言えないのでは。

**町長** 市街地や、人々が利用する場所は配慮が必要だが、それ以外の場合は自然のままがよい。

**問** 「水辺の楽校」の整備体制は。

**町長** 管理は道がしていると思う。親水公園は道から委託を受けて町が管理している。

**問** 上厚真周辺は整備されているが富野周辺は。

**町長** 富野小学校の上流下流は整備されていない実感がある。状況を管理主体の北海道に聞く。

**問** 暫定改修地の有効活用はできないか。

**町長** 環境美観の確保は必要と思う。それ以外は地域としてやりたい事があれば道に一時借用地の了解をとる。

### 在宅介護

**問** 在宅介護の町内現状は。

**町長** 人口4、900人に対して、65歳以上の高齢者は1、583人、高齢化率32・3%である。このうち介護認定は241人、高齢者人口に占める要介護認定者割合は15・2%である。

**問** 在宅介護のメリットは。

**町長** 住み慣れた所で暮らしていける。

**問** デメリットは。

**町長** 家族の方々の負担が重くなるのではないかと。

**問** 今後、支援体制を拡充する考えは。

**町長** 現状認識は家族の方に労働の負担があり、生活困窮の状況ではない今の段階では二つの事業展開で間に合う。

12月定例会の一般質問を要約してお知らせします。

詳しく知りたい方は、議会事務局、議会ホームページまたは青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。

# 町政を

## 役場庁舎の改築・指定管理者制度・水資源の涵養



井上次男議員

**Q** 役場庁舎の改築を考える時期に来ているのではないか。

**A** 優先順位はまだ後の方だと考える。



老朽化した役場庁舎

### 役場庁舎の改築

**問** 役場庁舎は築60年になろうとしている。全国の役場庁舎における、庁舎改築の用途は、30年から50年が主である。改築を考える時期に来ているのではないか。検討委員会を立ち上げ、総改築に向けた行動を起こしても良いのでは。

**町長** 検討委員会を立てるべきかと思うが、まず今建て替えるべきなのかどうか。優先順位はまだ後の方だと考える。ほかの公共施設と合築することも検討したが、やはり不便になるという結論だ

った。公共施設配置の概略計画もつくっているが、庁舎についてはもう少し後になると思う。

**問** 庁舎をリファイン建築等により、建築費を抑制できるのでは。

**町長** 役場庁舎は耐力診断では0・67と早々に建て替えなければならぬような数値であり、リフォームするには耐力的に問題がある。費用対効果を考えて合理的な方法をとりたい。

**問** 現在役場庁舎の町民サービスは必ずしも100%には至っていない。町民が役場における諸手続きを一本の導線で繋がってこそ、開かれる、頼られる役場と言えるのではないか。

**町長** 現在は庁舎が狭いため各課が分散しているが、改築するときは、窓口をなるべく統合して使い勝手の良いように考えたい。

### 指定管理者制度

**問** 平成27年までに職員を83名に減ずる計画であるが、すべての計画を達成する方策として、指定管理者制度の早期導入をすべきではないか。

**町長** すでに各種農業施設、こぶしの湯、各種福祉施設は指定管理者制度を導入している。残りはスポーツ施設が中心になるが、今後検討を進めていきたい。

### 水資源の涵養

**問** 水は人が生きて行く上で究極の生命線である。将来的に水を確保するため上厚真浄水場周辺を自然保全・涵養林として町有林の指定はできないか。

**町長** 当浄水場の水源は、軽舞川の表流水と周辺の湧水であり、今後も重要と考えているが、そこには莫大な資金をつぎ込むよりは厚幌ダムの完成とそ

こに水源を求めて統合化を優先させたい。否定するわけではないので検討は進めていきたい。

**問** 厚幌ダム関連に楢山浄水場新築も含まれると思うが、完成したときにその山林を確保しなくても水を確保できるのか。

**町長** 現在の水量を供給するための水源涵養はどの程度必要かは議論していかねければならないと思う。山林の所有者には水道水源の供給元という意識を持っていただいているので、差し迫った緊急性はないと思う。



上厚真浄水場

# 中国人観光客などによる活性化

Q

中国人観光客などをどのように厚真の活性化に結び付けるか。

A

流れに乗って厚真にも観光客が来ることを期待したい。

**問** 現在、全国では多くの中国人観光客、及び買い物客を呼び込もうと、自治体、町ぐるみで、商店街の活性化を図る、いろいろな企画を試みている。

また、国内ではまだ認識の浅い排出権取引（吸収源活動）などの活用、水資源の確保などを見越した、山林、など不動産の買い付けが行われる等メリット、デメリットを含めいろいろな面が報道されている。

自然、農産物が豊かで、又、フォーラムビレッジなどの、別荘地として最適な不動産販売も始まる。将来の厚真町にとっての中国に対する町長の認識は。

**町長** 中国は経済成長が著しく、世界各国で大きな市場として、中国に厚い視線を向けているのは承知している。

道としても観光客を呼び込みたいとして、組織を置いて活動している。また残念ながらそれとは別に国境紛争まではいかないがそれなりの問題も起きて、国民として中国とのつき合い方を改めて考える事と思われる。

しかし、もっと長い目で見ると中国は日本の文化の先生と言われた時代もあった。そういう意味で経済大国になった中国、先生であった中国と中国のことを考えると日本も中国とは良き隣人として、付き合っていくべきだと



木本清登議員

考える。  
北海道としても経済交流が今後も強くなっていく国だと考える。

**問** 町長の個人的認識はわかったが、不動産取引にはある程度の、条件と規制を掛けながらも、特産品の開発、中国人サーファアの発掘等その他いろいろの、方向性を見いだし将来の厚真町にとって中国人観光客の購買力を町の経済の活性化へ結びつける等の認識はないか。

**町長** 厚真町は農業が基幹産業で、自然も豊かという売りもある。中国の観光客を呼び込もうという道の姿勢もある。その流れに乗って厚真にも中

国人観光客が来ることを願っている。

**問** 今後の子供達の就職活動などでも、従来の英語と同様に中国語の必要性が出てくるのではないか。

**町長** 現在、日本語を学んでいる子供たち、そして英語を第一次外国語としている子供たちに、国厚真町とも英語教育に力を入れている中で、第二外国語として別な言葉を学校現場で教えて行く時期にはまだ至らない。

中国語については市民レベルで楽しむと言う範囲でそういう講座があっても良いかと思うが、教育として中国語を子供達に学ばせると言うのは時期尚早と思う。

**問** 先日、苫小牧市では中国語圏観光客のもてなしを学ぶ講習会が、釧路管内白糠町では道内で初めて中国語指導助手を採用するなど、中国に対す

る関心が出ています。

厚真町の子供達が現在だけでなく中国また中国語について興味があるか等、試験的な意味合いを含め、町民の中国語の堪能な方の協力を得て学童保育の中で、中国語講座等を開いては。

**町長** 子供たちというより、生涯学習、社会教育の場などで一講座を設定して、まず大人の方々の反応を探るのが先ではないか。

大人の方々がどう思うかを抜きに、子供たちへ教育しようとするのは大人の身勝手ではと思う。



## TPP協定参加の影響・コガネムシ対策



米田俊之議員

**Q** TPP協定参加の影響は。

**A** 農業が基幹産業である厚真町は壊滅的な打撃を受けるとされる。

**問** 政府からは「第一次産業を犠牲にしてもTPPに参加すべき」との発言が相次いでいる。日本の関税は高すぎるという議論もある。財務省の資料を見ると、関税無税の部分で、日本は41%、オーストラリアで47%、アメリカでも37%、EUで27%、韓国は13%と、決して関税を高く掛けないでいるものではない。特に第一次産業に大きな影響があると考えられ、食料自給率は14%まで落ち込むと予想されるが、町の考えと認識は。

**町長** 管内閣で、唐突にTPP参加方針が示されたということに、非常に私たちが戸惑いを覚えている。農業者としても困惑の極みだと思っている。農業を守るという姿勢、そして総合政策の道筋が見えていない段階で首相が国民に発表するのは時期尚早である。

**問** 本町は胆振の中でも

屈指の農業生産地である。古くはさくら米から、おふくろ味噌など商品化されてきた。苫小牧市の企業と連携しながら開発した商品もある。

そこで、町の農業、地域産業にどのような影響を及ぼすと考えているか。

**町長** 基幹産業である農業、農業にかかわるサービス業、消費者の皆さんなど、生活、経済活動している以上、関連する方々の仕事、経済活動が打撃を受ける。

商業統計、工業統計をみると、厚真町の産出額が60億円台ということで、農業の影響額が5割を越えれば、他産業も影響を受ける。

厚真町としても壊滅的な打撃を受けるという認識である。行政としても断固反対の意思表示をしたい。

**問** コガネムシ対策

幌里の町営牧場でコ

ガネムシが発生している。放置すると牧草枯れが拡大し、周りのゴルフ場や牧草地にも甚大な影響が出ると思われる。対策は。

**町長** 土壌のコガネムシ幼虫を、道立総合研究機構の農業研究本部で鑑定した結果を見ると、再来年成虫となる幼虫が大半で、来年1年間このまま放置しておけば、草の根を食べさらに被害が拡大する恐れがある。早急に対応していかなければと考えている。

**問** 公社の補助事業があると思うが、期限も迫っていると思う。

補助事業で行うのが町としても経費も安くなると思うが、具体的な対策は。

**町長** 砕土をすることが一番よいのではという指導もあった。本町としては、平成23年度に畜産担い手育成総合整備事業を活用して、この草地改良を行いたい。

## 町民のこえを募集

厚真町議会では、議会を傍聴した感想や「あつま議会だより」を読んだ感想、厚真町議会へのご意見を募集します。

### 投書について

投書される方は、原稿にご自分のお名前とお電話番号もお書き添えください。

「あつま議会だより」への掲載は匿名を原則とします。

投書されたご意見・ご要望の処理結果は「あつま議会だより」にてお知らせします。

なお、お名前等の記入がない投書については、取り扱わないことでもありますので、ご注意願います。

※投書は、FAXでも結構です。

FAX 0145-127-2328

## 学力向上・滞納への対応

**Q**

学力テストの結果、厚真の学校はどのような傾向か。

**A**

北海道の発表と似た状況である。中学校は全国レベルに近い。

**問** 町内の学校は学校環境としては、少人数学級の目安の30人よりも少なく、理想的な学習環境に有ると思うが、学力テストが始まった2007年以降道内の公立校は連続の全国下位にあると道教委の話だが、町内の学力テストの結果は公表されているか。

町内の学校は学校環境としては、少人数学級の目安の30人よりも少なく、理想的な学習環境に有ると思うが、学力テストが始まった2007年以降道内の公立校は連続の全国下位にあると道教委の話だが、町内の学力テストの結果は公表されていないが、厚真の学校はどのような傾向になっているか。

**教育長** 平成19年から実施して来た学力テストの結果を見ると、基本的には道が発表した状況とやや類似している。

特に小学校の改善が進んでいないという状況にある。

中学校は幸いにして全国レベルに近い所に来て

いる。

小学校の部を今後どうするかと言う事が今一番大きな課題となっている。学力向上プランの策定などを行い、児童一人一人の状況に応じた課題の克服と基礎・基本の定着に取り組んでいる。

**問** 教育委員会では、本年新たに「教育サポート事業」と「教育アドバイザー」を設置し教育環境の充実に取り組んできたが、その結果はどのような状況か。

**教育長** サポーター事業では、中央小学校では北海道派遣の専属の教員が1名張り付いている。

後の3校はうちのサポーターが1週間又は2



木村幸一議員

週間の交代で学校を回って、各教室での補助指導を行っている。

アドバイザーは夏休み前から学童保育での宿題学習に取り組み、低学年に効果が表れてきている。しかし今の状況は学校、家庭、行政が点で動いているので、これを線で結び、三者が一体で取り組むことで効果が上がると思う。

**問** 教育委員会は、普段の教育現場を見て、教職員の実績・技術等を確実に把握して、教育現場とかかわっていくのが必要ではないか。

**教育長** 学校の放課後を利用した取り組みを考え

ている。積極的に取り入れて行きたい。これからは子供たちが、と言う思いで保護者よりも子供たちに視点をおいた活動を保護者の皆さんとどう作れるか考えて行きたい。

### 滞納への対応

**Q** 平成21年度決算で滞納状況を見ると、町税、公営住宅使用料、上下水道料等の公共料金の滞納は累増の一途をたどっている。これを放置しておくことは出来ないと思うが、対策はどのように考えているか。

**町長** 滞納額は町民税704万1、105万、固定資産税2、519万2、600万、軽自動車税10万2、600万、特別土地保有税795万6、200万円で町税合計4、029万2、505万となっている。

対策としては督促状、催告書、差し押さえ予告書の送付、電話や、夜間

訪問を行っているが、特に納税意思が無いと判断される滞納者に対しては法に基づき滞納処分を実施している。

また、平成21年7月から「東胆振地方税徴収対策本部」が設置され、滞納対策の強化に努めている。

**Q** 公営住宅使用料は平成21年度で620万1、679円となっており平成19年度より三倍以上になっているが対策は。

**町長** 文書による督促、電話による納入勧奨、夜間徴収を行っている。

**Q** 現在の滞納状況や、今後新たに発生する未納や滞納に対しての解決策について町長の考えは。

**町長** 今後は、力があるながら納入意思の低い人等の見分けや、効果的な対応を早期に実施して、強力に納入督促を行って行く。

# 一般質問

## 議員の口利きへの対応・農業に関する基本方針・エゾシカ対策 姉妹都市交流事業・町並みや景観に対する考え方

**Q** 議員からの働きかけをどのように処理しているか。

**A** 文書により記録を残すようにしていきたい。

**議員の口利きへの対応**

**問** 議員活動の一環として、住民からの要望を受けて直接担当課へ働きかけをすることがあるが、一つ間違えると口利きという不正行為になる可能性がある。役場内部で、このような働きかけをどのように処理しているか。

**町長** 文書による要請活動は、きちんと文書により処理されていることと比べると、口頭による要請活動はそういった処理がされていないことがあるかもしれない。役所としては、すべての要請活動に対して文書により記録を残すというのは当然と思うので、すべての事柄について記録

を残すようにしていきたいと思う。

**農業に関する基本方針**

**問** 今後農家戸数の減少が予想される。20年後には農地を借地したいという要望が多くなると思われる。現時点で何か打てる方策はないか。

**町長** 町の第6次農業振興計画の調査内容の中に、60歳以上で後継者のいない農家が100戸ある。本町の農家戸数の四分の一に当たり、面積では650ヘクタールを営営している。この先、農地を有効に活用していっただけかということに対して心配していると思う。

そういう意味では、受



下司義之議員

け皿をきちっと作っていくということが大切であると思うし、そのためには、農地の流動化、流動化のための調整機能をきちんと整理するということが大切であると思う。

受け皿として、後継者や新規就農者を育成していくことも必要であるという観点から、平成22年度も先進地調査などの予算も計上した。

**エゾシカ対策**

**問** 農地以外のエゾシカ食害対策をどのように考えているか。

**町長** 農地以外の食害については情報がないので、具体的な対策は考えていない。

**問** 交通安全対策のため

にも、エゾシカ対策柵マップを配布できないか。

**町長** マップの配布は難しいが、エゾシカ横断注意の表示標識は設置できると思う。

**姉妹都市交流事業**

**問** 姉妹都市交流事業に対する基本的考え方は。

**町長** 厚真町にとっては、たつた一つの姉妹都市でもあるので、今後も前沢との交流を積極的に取り組んでいきたい。

**問** 派遣事業の補助金が20万円となつているが、人数の多い団体では全体事業費が90万円程度になる。対象事業費などの見直しが必要ではないか。

**町長** これまでには必要最小限の経費を補助する考え方である。

**問** 必要な経費については、補助対象にしていると思うが。

**町長** 構成員、引率者だけの経費に関しては、相

当の助成をしていると思う。大人の派遣については、補助をしているが、少年団の家族に対しては補助対象とならないか。

**町長** スポーツ少年団の派遣には家族の支援が必要であり、家族の助成についても考える余地があると思う。

**問** 町並みや景観に対する考え方

**問** 平成12年3月に町商工会が作った商店街活性化基本計画の中で、商店街の景観についての具体的方針が示されているが、町長の商店街景観に対する考え方は。

**町長** 街並みの景観に関して行政が新たに規制を設けるとするのは難しいと思つているが、商店街に新しい建物が建つ時に話題提供などをすることができると思う。

ハートフルタウンに関しては、街並み景観に関しての話し合いをしたことがないので、景観統一は難しいと思う。

## 12月定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

平成22年11月26日（金）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	厚真町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第3号	厚真町一般職の給与に関する条例等の一部改正 反対者2名（下司議員、米田議員）	賛成多数
議案第4号	厚真町特別職の給与に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第5号	厚真町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第6号	厚真町議会議員期末手当支給条例の一部改正	賛成全員
議案第7号	財産の処分	賛成全員
議案第8号	平成22年度厚真町一般会計補正予算（第6号）	賛成全員
議案第9号	平成22年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
議案第10号	平成22年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算（第1号））	賛成全員
議案第11号	平成22年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
議案第12号	平成22年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	賛成全員

平成22年12月16日（木）～12月17日（金）（定例議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
同意第1号	厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任	賛成全員
議案第1号	厚真町選挙公報の発行に関する条例の制定	賛成全員
議案第2号	厚真町犯罪被害者等の支援に関する条例の制定	賛成全員
議案第3号	厚真町議会の議員の定数を定める条例の一部改正	賛成全員
議案第4号	厚真町議会委員会条例の一部改正	賛成全員
議案第5号	厚真町税条例の一部改正	賛成全員
議案第6号	町有財産の譲与	賛成全員

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第7号	厚真町テレビ共聴施設整備工事請負契約の締結	賛成全員
議案第8号	平成22年度厚真町一般会計補正予算（第7号）	賛成全員
議案第9号	平成22年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	賛成全員
議案第10号	平成22年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算（第2号））	賛成全員
議案第11号	平成22年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	賛成全員
議案第12号	平成22年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	賛成全員
認定第1号	平成21年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第2号	平成21年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第3号	平成21年度厚真町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第4号	平成21年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第5号	平成21年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第6号	平成21年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第7号	平成21年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
意見書案第1号	厚真川河川改修事業促進に関する意見書	賛成全員
意見書案第2号	政府によるTPP交渉への意見書	賛成全員
意見書案第3号	北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書	賛成全員
意見書案第4号	政府のEPA基本方針に関する意見書	賛成全員
意見書案第5号	農業農村整備事業の促進に関する意見書	賛成全員



みんなの町政です  
**議会を傍聴して  
みませんか**

町議会は町の予算や身近な問題について話し合う、大切な会議の場です。

あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は3月初旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴に関するお問い合わせは、

TEL 27 - 2485 議会事務局までお気軽にどうぞ。

### 議員定数11人に決まる

昨年3月9日の第一回定例会で、議会改革の調査検討を目的とした、議会改革調査特別委員会が設置されました。  
6回にわたる委員会での討議により、議員定数を12人から11人へ改正することが決定し、今定例会で報告、条例改正されました。この改正は4月の改選から適用されます。

### 第4回臨時会

11月26日開会

- 厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- 厚真町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 厚真町一般職の給与に関する条例等の一部改正
- 厚真町特別職の給与に関する条例の一部改正
- 厚真町教育委員会教育

長  
の  
給  
与  
及  
び  
勤  
務  
時  
間  
等  
に  
関  
す  
る  
条  
例  
の  
一  
部  
改  
正

■厚真町議会議員期末手当支給条例の一部改正

人事院勧告に基づき、給与、期末手当が改正されました。

■財産の処分

フォーラムビレッジ分譲のため、町有地の売却を認めるものです。

■一般会計補正予算

グループホームへの補助金、緊急雇用事業、生活応援商品券、災害復旧費などで合計4,261

万9千円が追加され、予算総額は68億1,558万7千円になりました。

■国民健康保険事業特別会計補正予算

職員期末手当で7万3千円減額され、総額で6億9,825万5千円になりました。

■介護保険事業特別会計補正予算

職員期末手当で8万1千円減額され、総額で2,851万9千円になりました。

■簡易水道事業特別会計補正予算

職員期末手当で12万4千円が減額され、総額で2億5,597万6千円になりました。

■公共下水道事業特別会計補正予算

職員期末手当で19万円が減額され、総額で1億8,841万円になりました。



- 11月
  - 9～12日・決算審査特別委員会
  - 10日・雄武町議会視察来町
  - 16～17日・全国議長会
  - 26日・平成22年第4回臨時会
- 12月
  - 6～7日・胆振管内町村議会議長会総会
  - 10日・議会運営委員会
  - 16～17日・平成22年第4回定例会
  - 17日・議会広報特別委員会
- 1月
  - 17日・議会広報特別委員会
  - 20日・総務文教常任委員会
  - 21日・産業建設常任委員会
  - 24日・議会広報特別委員会

あとがき



日本人の平均寿命が、男女ともに過去最高を更新した。女性が86・44歳、男性は79・59歳に伸びている。がん、心疾患、脳血管疾患の三大疾患を克服した場合、男性女性ともにさらに長生きする可能性があるといる。  
人の一生も晩年の過ごし方で決まる。だから長寿を心から喜べる社会の仕組みを早く構築しなければならぬ。手始めに政権の延命策しか頭にならぬ内閣を短命に終わらせることだと思ふ。

広報委員 木戸嘉則